



NTTコミュニケーションズのCSR

私たちがめざすもの：サステナブルな未来への多面的な貢献と、価値創造



私たちは、NTTコミュニケーションズグループ全員で共有する考え方として「CSR基本方針」を定め、グループ一体でCSR活動を推進しています。企業は、持続可能な社会の発展に貢献し続けるため、経済・社会・環境情勢を見すえ、社会への価値創造はもちろん、負の影響の抑制を心がけていく必要があります。このような問題意識にもとづき、私たちは2015年～2016年にかけて、同基本方針の刷新を、グループ横断で優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の再検証と併せ実施しました。

CSRの考え方

CSR基本方針

私たちNTTコミュニケーションズグループは、現在と未来を「つなぐ」パートナーとして、ICTを通じて、グローバル規模で社会の新たな価値創造や社会的課題解決に取り組み、安心で快適・豊かな社会の実現に貢献します。

■ NTTコミュニケーションズグループのCSR基本方針



社会への貢献

私たちは、社会の持続的発展のため、安定的で信頼性の高いサービスを提供するとともに革新的ICTを開発・提供することで、国内外のさまざまな社会的課題の解決に貢献します。

私たちは、社会を支え生活を守る重要なインフラを提供する企業グループとして、災害に強く、サイバーセキュリティ対策を強化した、安心なコミュニケーション環境を提供します。



地球環境への貢献

私たちは、グループ事業全体にわたって環境負荷を低減し、ICTの利活用による社会全体の環境負荷低減に取り組み、さまざまな地球規模での環境問題の解決に努めます。



人材の尊重

私たちは、社員をはじめステークホルダーのみなさまの多様性を尊重し、ひとり一人が活躍できる環境の整備に努めます。また、自らが変革し、自らの限界を超えて成長することにより、豊かな社会作りにも貢献します。



経営統治の継続的強化

私たちは、ステークホルダーのみならずとのコミュニケーションを大切にするとともに、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。

基本方針に即した重点活動項目の設定

CSR基本方針を確実に浸透・実践する中期的な目標・指針として、重要性分析にもとづく「CSR重点活動項目」を2011年より定め、PDCA活動を展開しています。具体的には、CSR基本方針と紐づく4つの「重点領域」に即し、具体的な目標となる「CSR指標」を設定し、継続的な改善を図ってきました。

2015年度に実施した改定では、国連グローバルコンパクトや持続可能な開発目標(SDGs)、ISO26000、GRIガイドラインといった各種ガイダンスやイニシアチブならびに調査会社から寄せられる質問テーマなどを参考とし、外部有識者を交え指標の見直しを実施しました。2016年度より新指標に即した活動を実施しています。

それぞれの内容と成果は、本CSR報告書詳細版の各章をご参照ください。



NTTグループの一員として

グループ体でのCSRの推進

近年、国連総会において「持続可能な開発目標(SDGs)」の採択や、COP21での「パリ協定」の採択など、地球規模での持続可能な社会への取り組みが強く要請されています。

このような背景を踏まえ、NTTグループ各社が一体となってCSRを推進していくための重要な課題(マテリアリティ)である「NTTグループCSR重点活動項目」を見直し、2016年5月に「NTTグループCSR憲章」を改定しました。

NTTコミュニケーションズグループでは、改訂したNTTグループのCSR憲章を踏まえ、引き続き、グループ一体となり社会の課題解決に取り組みます。



NTTグループCSR委員

NTTグループでは2015年度よりNTTのCSR委員会委員長(代表取締役副社長)を委員長とし、主要グループ8社のCSR最高責任者(副社長、常務取締役)を委員とした「グループCSR委員会」を設立し、グループ全体におけるCSRマネジメントの進展を図っています。

NTTグループCSRカンファレンスへの参加

NTTグループのCSRに関する優良施策をグループ横断的に共有することで、社員のCSR意識の浸透を図り、今後のCSRや社会貢献のあり方について考えることを目的として、2013年度より「NTTグループCSRカンファレンス」を開催しています。

2016年度は、優良施策を1件発表し、NTTグループCSR AwardsにてGrand Prizeを受賞しました。

NTTグループとして、国連SDGsへ賛同

2016年度、NTTグループは国連「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」に賛同を表明しました。これを受け、私たちも2016年度よりNTTグループの一員としてSDGsに貢献する取り組みを推進しています。具体的には、私たちは2016年度に実施したCSR重点活動項目の刷新時に、SDGsの加味を開始。現在、特に私たちの事業特性を活かした貢献の在り方につき、外部有識者も交え模索を継続しています。



活動の継続的検証

有識者を交えた重点活動項目の総括

2016年度は新たな重点活動項目に即した活動の初年度でした。また、上記のごとく、国連SDGsへのさらなる貢献にむけた検証を継続しています。これを踏まえ、2017年春より夏にかけ、外部有識者を交えた活動成果の総括を行いました。

具体的には、まず重点活動項目ごとに年度目標および成果を検証し、2017年度以降の活動に対しステークホルダーの見地にたった意見をいただきました。一方、国連SDGsに即した取り組みについては、まずCSR重点領域ごと「優先的に取り組みを検討するSDG」を特定。定量・定性目標への加味の可能性を検討しました。今後は、これらの成果を踏まえつつ、重点領域ごとに「SDGsと関わりが深い事業事例(パイロットプログラム)」を抽出しCSR委員会が軸となり効果測定を実施。2018年度以降の定量・定性目標への加味を検討します。

■ 2017年8月に開催した、外部有識者とCSR実務者との会合の様子



〈参加いただいた外部有識者・専門家〉
黒田かをり CSOネットワーク 事務局長・理事
(コーディネーター)
井爪毅 クロスインサイト シニアディレクター